
第48回全国ホタル研究会大会報告

1. 研究大会の概要

(1) 概要

全国ホタル研究会の第48回大会が平成27年6月5～7日の3日間、静岡県川根本町にて全国各地から395名のご参加をいただき、盛大に開催されました。

主催：全国ホタル研究会

主管：第48回全国ホタル研究会静岡県川根本町大会実行委員会

共催：静岡県ホタル連絡協議会・川根本町

後援：環境省・静岡県・静岡県教育委員会・川根本町教育委員会・島田市・島田市教育委員会・藤枝市・藤枝市教育委員会・焼津市・焼津市教育委員会・牧之原市・牧之原市教育委員会・菊川市・菊川市教育委員会・吉田町・吉田町教育委員会・静岡新聞社・静岡放送・静岡第一テレビ・静岡朝日テレビ・NHK静岡放送局・中日新聞東海本社

【1日目】

13時から川根本町文化会館にて受付が始まり、15時10分よりオリエンテーションが開催されました。中村会長の挨拶と落合実行委員長長の諸連絡の後、16時よりシンポジウム「ホタルの魅力を次世代へ繋げるために～静岡県における事例研究～」が行われました。

19時20分よりホタルの観察会でしたが、激しい雨のため、残念ながら中止になりました。観察会では、人の手を加えず、ホタルが自然発生している「富沢ホタルの里」、地域の方々の熱心な保全活動が実を結び、多くのホタルが発生する「ときどんの池」の2箇所を観察する予定でしたが、悪天候のため残念でした。

【2日目】

第48回全国ホタル研究会静岡県川根本町大会は、中村会長の主催者挨拶、落合実行委員長長の開会宣言に続き、川根本町の鈴木町長の歓迎挨拶の後、来賓の祝辞と紹介がなされ、開会行事が終了しました。

大会では、午前に町内3小学校の子供達による活動発表、3題の一般研究発表、午後に5題の会員研究発表が行われました。

続いて総会では、第49回の開催地は米子大会であることを確認し、第50回の開催地が新潟県長岡市に決定され、総会は終わりました。

大会及び総会終了後は、寸又峡温泉の特設会場にて、交流懇親会が開催されました。落合実行委員長と鈴木町長の挨拶、乾杯により、懇親会は進みました。アトラクションとして、フラダンスの踊り、神楽の火の舞、赤石大太鼓の演奏がありました。次期開催地である鳥取県米子市に大会旗の受け渡しがあり、次期開催地を代表して鳥取県米子市の野坂市長の挨拶が行われました。懇親会では、迫力ある郷土芸能を交えつつ、会員や地元大会関係者との親睦を深めました。

【3日目】

希望者による地域観光（トロッコ列車アプト式鉄道等）を行い、各自解散となりました。

（2）会場

静岡県川根本町 川根本町文化会館

（3）大会日程

6月5日（金）

13：00～15：00 受付

15：10～15：40 オリエンテーション

16：00～17：30 シンポジウム

「ホテルの魅力を次世代へ繋げるために
～静岡県における事例研究～」

19：20～21：00 ホテル観察会

富沢ホテルの里、ときどんの池にてホテルの観察

6月6日（土）

09：00～09：30 受付

09：30～10：00 歓迎セレモニー「赤石太鼓」

赤石太鼓保存会

10：00～10：30 第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会開会式

中村 光男（全国ホテル研究会会長）

落合 孟朗（川根本町大会実行委員長・静岡県ホテル連絡協議会会長）

鈴木 敏夫（川根本町長）

来賓紹介・祝辞、祝電披露

10：40～12：00 子どもたちによる活動報告

13：00～16：00 研究発表会

16：20～17：00 第48回全国ホテル研究会総会

18：00～21：00 懇親会（寸又峡温泉特設会場にて）

6月7日（日）

09：00～13：20 地域観光

アプト式鉄道、長島ダム、蓬莱橋を観光

(4) シンポジウム

①富士山静岡空港におけるホテル類の環境保全

…………… 関川 文俊（常葉大学附属環境防災研究所 研究員）

②静岡県におけるホテル人工飼育の事例

…………… 菅谷 昌司（静岡県ホテル連絡研究会 事務局長）

(5) 子どもたちによる活動報告

①大井川から学んだこと・川の色は教えてくれる

…………… 川根本町立本川根小学校：

後藤 央蒔（5年）・芹澤 大輝（5年）・
春田 浩奈（5年）・峠下 音々（5年）・
森永 太陽（5年）・八木 夏希（5年）・
大村 詩央音（6年）

②ときどんの郷の環境を守るために

…………… 川根本町立中川根第一小学校：

相藤 里緒（5年）・小田切 駿（5年）・
小藪 祐矢（5年）・澤田 浩志（5年）・
鈴木 篤朗（5年）・中村 芳乃香（5年）・
細田 久美子（5年）・渡邊 舞（5年）

③南部リバー探検隊「川根はすごいぞ」ニュース

…………… 川根本町立中川根南部小学校：

榎本 伽音（４年）・古林 輝晟（４年）・
澤口 藍璃（４年）・下原 莉胡（４年）・
鈴木 南海（４年）・瀧尾 勇智（４年）・
塚本 和也（４年）・西村 美希（４年）・
下村 健斗（５年）・西澤 柊斗（５年）・
原田 瑛司（５年）・山本 莉空（５年）・
湯口 峻祐（５年）

④心のふるさとと蛍の関係に関して

…………… 増田 光祐・感應 侑也
「たぬきの仲間たち」（常葉大学）

⑤「仲間」づくり・魅力づくり・活力づくり…………… 芦澤 豊

（川根本町『千年の学校』）

(6) 研究発表

①小川中学校のホタル飼育

…………… 焼津市立小川中学校：
増田 達哉（科学部 顧問）・
宇田 真琉（科学部 部長）

②天然記念物山口ゲンジボタル発生地保存管理計画の策定と現状変更許可権限の市
への移譲について …………… 磯部 貴文

③ゲンジボタルが生息する河川の水質分析と環境保全への利用

…………… 松本 浩一・横山 丈徳・草桶 秀夫

④横浜市南部瀬上沢のホタル生息調査 ……………

田中 敏明・伊藤 真砂繪・鍊石 順三・
河本 充雄・木村 喜芳・清原 澄芳・
柴田 葉子・高橋 百香・中塚 隆雄・
宮本 正文・渡邊 富男

⑤福井県勝山市におけるゲンジボタルの発光パターン

…………… 井口 豊

⑥ホタルの同時明滅とコオロギのコーラス

…………… 大場 信義

大会開催地より

第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会を終えて

静岡県川根本町大会実行委員長
静岡県ホテル連絡協議会会長 落合 孟郎

「第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会」に、全国各地から多くの会員の参加をいただき、思い出に残る大会が出来ましたことを、心から御礼申し上げます。

川根本町を始め、多くの方々より物心両面にわたりご支援をいただきありがとうございました。

静岡県をはじめ、近在の市町村並びに多くの報道機関にご後援をいただきました。心強く感じ、大会を終わる事が出来ました。心から御礼申し上げます。

大会を開催するあたり、町役場、ときどんホテルの会、富沢ホテルの会、静岡県ホテル連絡協議会のメンバーで実行委員会を立ち上げました。五里霧中の状況で、度重なる会合を開き、『参加者の思い出に残る大会を』をモットーに取り組みました。

250人が一堂に会する会場がありませんので、テント張りの野外会場を設営し、懇親会会場といたしました。幸いにも天が味方をしてくれ、前日とは打って変わり、星も見える爽やかな天候の中で、華麗な赤石太鼓の演奏、徳山神楽の火の舞等で盛り上げていただき、多くの方々と交流が出来ましたことを、心から感謝申し上げます。

次の開催地である鳥取県米子市での再会を誓って終了できました。ありがとうございました

ました。ホテルを通しての自然環境保護活動、人と人の絆を強める地域活動の取り組み、郷土に育つ子供たちが心豊かに成長してくれることを、強く望みます。

最後になりましたが、本大会にご参集していただいた関係各位の益々の繁栄をご祈念申し上げます。

第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会を顧みて

静岡県川根本町大会実行委員会事務局長 鈴木 俊三

真夏の暑い日々が続きます、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。大会より二ヶ月が過ぎました。子供達は夏休みを迎えて、「ときどんの池」にも、ザリガニ取り等をして遊ぶ、元気な子供の姿が見えます。

大会を顧みますと、3年前の鹿児島県霧島大会に参加した時に、静岡県での開催地として、当町への誘致願望が起きました。これまでも全国ホテル研究会（大会開催地9県）に参加してまいりました。どこの開催地でも会員の皆さんのおもてなしと歓迎を受け、感動させられました。全国ホテル研究会の会員交流の場である懇親会では、ホテルの灯りに魅せられた多くの人から、発生状況等の報告を聞き、勉強になりました。毎年の再会に喜び、友情の輪が広がり、お互いに健康であることの喜びを感じました。

私達は、第46回北九州大会の時に、自分達の町（静岡県）で開催してもらえるように、静岡県ホテル連絡協議会会長・落合孟郎さんをお願いしました。ときどんの池ホテルを育てる会会長・橋本務さんの決断により、全国ホテル研究会への申し込みをしていただきました。その後、福井県かつやま大会に続く、第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会（平成27年6月5～7日）の内定をいただきました。早速、町役場へのお願いに参りました。平成26年6月に、川根本町町長鈴木敏夫さんを訪ねて大会の財政・企画の協力お願いし、又大会開催地の承諾をいただきました。鈴木敏夫町長には、福井かつやま大会へ参加して、開催地招致の挨拶をお願いしました。7月4日、大会実行委員会の発会式を行い、参加関係者による役員選任を行いました。「行政担当者・ホテルの会会員・地域の皆さんの力を合わせて大会を成功させましょう」と約束をしました。時間の過ぎるのは速く、実行委員会打合せを毎月開き、実行項目ごとに決定して参りました。

大会（一日目）が始まりました。午後13時、参加される皆様の笑顔が、受付の前で確認されました。たくさん励まされ、元気を頂き、スタートしました。シンポジウムの後のホテル観察会が、激しい雨のため中止になったことは残念でした。

大会（二日目）の第48回全国ホテル研究会静岡県川根本町大会は来賓の方々、静岡県

知事（代理自然環境部長）・衆議院議員・参議院議員・県議会議員の皆様により、大会に華を添えて頂きました。午前中には、町内3小学校の児童による研究発表、一般研究発表（三題）、午後には、全国ホテル研究会の五題が発表されました。続いて全国ホテル研究会の総会で、次回開催地は鳥取県米子市と決定され、総会は終了しました。その後、懇親会会場である寸又峡温泉街へ案内しました。参加された方々が、「おもてなし」でフラダンスの踊り、神楽の火の舞、赤石太鼓の演奏等を見ながら、地域の人達とホテルを愛する会員の皆様とが、お酒を飲みながら、会食し、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

翌朝、参加者の皆さんは、自由解散となりました。このうち49名の方が、町内観光として、トロッコ列車アプト式鉄道を体験し、大井川の溪谷美や長島ダム湖を堪能していただきました。また、バスで大井川下流に架かる蓬莱橋まで移動して、渡っていただくなどした後、JR島田駅にて解散しました。

人口約7000人の小さな町に全国から約200人が集まった、全国ホテル研究大会を無事終えることが出来ました。本大会では、会員各位のご協力と暖かい応援に励まされました。長くなりましたが、これからもホテルを愛し続け、子供達の故郷のホテルの思い出づくりの活動をいつまでも続けることを約束して終わりと致します。本当にありがとうございました。

バックナンバーの販売について

研究会誌（大会誌） 第27号～48号 各号とも500円

情報交換誌第14・15・17・19～24・26～37号
各号とも500円

復刻版「蛭」 原志免太郎 著 1000円

復刻版「キセルガイの人工飼育」 鈴木重雄 著 800円

購入の申し込みは事務局まで